

平成26年6月20日
済生会松阪総合病院
病院長 諸岡芳人
感染対策室長 南川光三

昨今、新聞などで多剤耐性菌（複数の抗菌薬が効きにくい細菌）に関する報道がされることが多くなりました。済生会松阪総合病院におきましても、日ごろより感染対策室を中心に多剤耐性菌の院内拡大防止に向けて、様々な対策を講じて参りましたが、本院でも多剤耐性アシネトバクター属を検出しました。2名の患者様から本菌が分離されたことを重く受け止め、ここにご報告致します。

1.経過概要

平成26年5月27日、入院中の患者様から多剤耐性を疑うアシネトバクター属が検出されました。この患者様はもともとの疾患で死亡されましたが、本菌による影響は不明です。また、6月12日、別の患者様の検体からも同様の細菌が検出され、松阪保健所に報告しました。現在、院内感染の可能性を含め調査中であり、外部の専門機関への相談も検討しています。

2.当院での対応

本菌が検出された患者様は個室に転室していただき、「接触感染予防策」を徹底して実施しています。また、本菌検出後対策会議を行い職員の手指消毒等、標準予防策を再度徹底し、患者様が使用した病院環境の除菌清掃を実施しました。

この度は皆様にご心配とご迷惑をおかけしますこととお詫び致します。今後も本菌に限らず、その他の耐性菌も含め万全の感染対策に努めたいと存じます。

【お問い合わせ先】

済生会松阪総合病院 総務課

電話：0598-51-2626

受付時間：平日9時～16時

* 当院では本年度から感染対策に関する情報をホームページに掲載することにしました。